



村小だより

令和元年9月13日発行

大運動会迫る！ 村小っ子の本気！ 乞うご期待！

校長 鈴木 正美

大運動会(21日土曜日)まで1週間。気運もかなり盛り上がってきました。当日は、どんなドラマがくり広げられるのでしょうか。私も大人げなく、「わくわく、ドキドキ」してきましたが、247名の村小っ子が思いっきり活動できる運動会日和になることを切に願っているところです。是非、皆様の念力もお貸しください。

今年のスローガンは「令和初!! 優勝目指して 本気で戦え 村小大運動会」です。子どもたちが決めたこのスローガンの下、体育や休み時間等を使って、競技・演技の練習や応援練習等に取り組んできました。この間、家庭・地域での支えや励ましのおかげもあり、子どもたちの意欲や思いが高まってきていることが、全体練習等での言動から、強く感じられます。

本番は、走るのが得意な子もそうでない子も、自分の持ち味を生かし、本気になって競技や演技に、応援や係の仕事等に取り組み、「自分はがんばった。仲間と協力して精一杯取り組んだぞ。」という成就感、達成感、満足感を十分味わってほしいと思っています。そして、ご家族の皆様と同様に、私たちも、その様子をとらえ、心から称えたいと思っています。

当日は、多くの皆様からご来校いただき、村小っ子の「本気」を肌で感じていただけたら幸いです。お待ちしております。

この写真は、昭和52(1977)年の村上小学校運動会の写真です。開会式後のラジオ体操の様子です。村上小と村上南小に分かれる前の年、県下最大のマンモス校として、最後の運動会を記念に撮ったものだそうです。(夏休みの資料室整理の際に発見)

この年の児童数は1700人を越えていました。左下が鼓笛隊の服装の5年生、その右列が1年生、右上奥列が6年生です。画面には白組しかいないので、左下画面外に赤組が同じように並んでいるでしょう。



村上小学校の第1応援歌2番は、『千余の胸を躍らせて 君の勝利を祈るとき 臥牛の山を揺るがせて 我に凱歌を揚げしめよ 勝てよ 我が友 我が選手』という歌詞です。調べてみると昭和20～35年ころには、2千人を越える児童数でした(最高2411人)。そうすると赤組も白組も、それぞれが千人を越える「我が友 我が選手」がいたのです。

「千余の胸を躍らせる」運動会の伝統を感じつつ、間もなく令和元年度の運動会を迎えます。